

EU Indicators

欧州経済指標コメント：1月ドイツ I f o 企業景況感

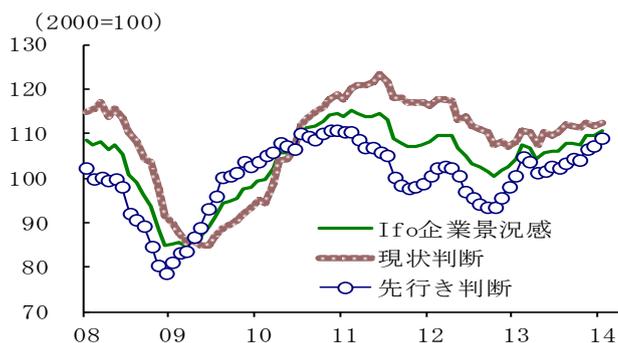
発表日：2014年1月27日(月)

～新興国の動揺もドイツは無傷～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

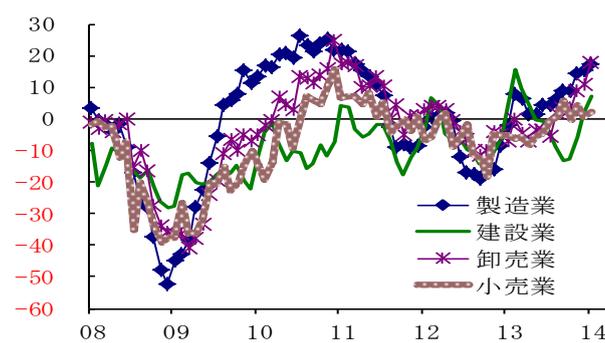
- 1月のドイツの I f o 企業景況感指数は3ヶ月連続で改善し、2011年7月以来の水準に復帰（左図）。内訳は現状判断・先行き判断が揃って改善。昨年夏場以降、一進一退の推移が続いてきた現状判断は2ヶ月振りに上昇し、緩やかながら徐々に水準を切り上げている。先行き判断は3ヶ月連続で改善、昨年10月以降に回復ペースが加速しており、2011年2月以来の水準に上昇した。既報のPMI指数の一段の改善や高水準のZEW景況感指数が示す通り、ドイツの景気回復が勢いを増している。
- 業種別の先行き判断は全業種が揃って改善（右図）。海外景気の回復を映じて製造業の業況が一段と上向いたほか、卸売業と建設業の改善モメンタムが加速し、全体の業況改善を後押しした。小売業は小幅改善にとどまったが、製造・卸売段階の業況判断が急ピッチに上向いており、小売業にも徐々に波及してくることが予想。同時に発表されたサービス業の業況判断（I f o 企業景況感指数には含まれない）も現状・先行き判断が揃って改善。内外需ともにドイツの景気回復に死角は見当たらない。
- 2月14日に発表される10-12月期のドイツの実質GDP成長率は前期比+0.4~0.5%程度に再加速する見通し。足許で新興国市場で動揺が広がっているが、とりわけ動揺が大きい中南米諸国がドイツの輸出先や銀行貸出に占める割合は小さい。新興国の動揺が関係の深い中東欧経済などに波及しない限り、影響は限定的。1-3月期入り後も企業の業況改善が続いており、堅調な景気拡大が予想される。

■ ドイツ：I f o 企業景況感



出所：Ifo

■ ドイツ：I f o 業種別の先行き判断



出所：Ifo

■ ドイツ I f o 企業景況感

| | 2013 | | | | 2013 | | | | | | | | 2014 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | |
| 企業景況感(総合) | 106.1 | 105.3 | 107.2 | 108.8 | 105.9 | 106.1 | 107.6 | 107.8 | 107.5 | 109.4 | 109.5 | 110.6 | |
| 現状指数 | 109.5 | 108.9 | 111.1 | 111.7 | 109.4 | 110.0 | 112.0 | 111.4 | 111.3 | 112.3 | 111.6 | 112.4 | |
| 先行き指数 | 102.9 | 101.8 | 103.4 | 106.0 | 102.5 | 102.3 | 103.4 | 104.4 | 103.9 | 106.6 | 107.4 | 108.9 | |
| 業況判断 | | | | | | | | | | | | | |
| 製造業 | 5.0 | 3.4 | 7.0 | 10.1 | 4.5 | 4.9 | 7.8 | 8.2 | 7.7 | 11.3 | 11.4 | 13.7 | |
| 建設業 | 7.3 | 5.8 | 10.4 | 14.0 | 7.8 | 7.8 | 11.2 | 12.1 | 11.2 | 15.4 | 15.5 | 17.7 | |
| 卸売業 | 4.4 | 1.5 | -3.8 | -2.5 | 1.1 | -1.4 | -4.1 | -6.0 | -6.0 | -2.9 | 1.3 | 2.5 | |
| 小売業 | 1.6 | -1.4 | 4.5 | 9.8 | -0.8 | -0.3 | 8.3 | 5.6 | 8.1 | 11.8 | 9.4 | 15.3 | |
| | -0.9 | -0.8 | 4.1 | 4.5 | -1.6 | 2.9 | 3.1 | 6.4 | 3.6 | 5.3 | 4.7 | 4.2 | |

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。